

むずかしい言葉の説明

六ページ

藩校

江戸時代、藩が家臣である武士の子供を教育するためにたてた学校のこと。

八ページ

判官

開拓使の中で、長官、次官に次ぐ地位の役人で六名いた。首席とは、そのリーダーのこと。

十ページ

西南戦争

明治十年、新政府に対する不満から、鹿児島が、西郷隆盛をたてておこした戦争のこと。

十二ページ

蘭方医

東洋医学ではなく、オランダ式の医学を研究したり、実際に使ったりする医者のこと。

破門

先生と生徒の関係をたち切られ、その仲間からのぞかれること。

十三ページ

精煉方

佐賀藩における研究グループのことで、理化

学技術の中心となった。

反射炉

佐賀藩ではじめてつくられた炉のことで、天井などの反射熱で金属をとくす仕組みになっている。

十三ページ

長崎海軍伝習所

長崎にできた、オランダの進んだ技術を身につけさせるための学校のこと。

十四ページ

地頭

鎌倉・室町時代に全国各地におかれ、土地の管理や年貢のとりたてなどの仕事を行った人のこと。

十七ページ

弘法様

仏教の中の宗派の一つである、真言宗をはじめた弘法大師（空海）の愛称のこと。

二六ページ

・内閣総理大臣

日本の政治をおこなう内閣の最高責任者のこと。

二九ページ

・内生寮

藩校弘道館の中にあつた学校の一つで、今の高等学校以上ぐらいにあたるものが内生寮、小・中学校ぐらいにあたるものが外生寮とよばれた。

二九ページ

・南北騒動

内生寮内の二つの寄宿舎、南寮と北寮が藩校の教育方針をめぐる争つた事件のこと。

・英学

英語によつて、いろいろなことを学ぶ西洋の学問のこと。

二二ページ

・参議

明治時代のはじめごろ、日本の政治をおこなつた政府の重要な地位にあつた役人のこと。

・太陽暦

地球が太陽を一回りする時間を一年とする暦のこと。以前は太陰(月のこと)暦を使つていた。

二二ページ

・佐賀の七賢人

鍋島直正、大隈重信、副島種臣、江藤新平、佐野常民、大木喬任、島義勇の七人のこと。

二二ページ

・陰影表現

ものかげをつけ、立体感をあらわす表現方法のこと。

二四ページ

・特命全権公使

特別な命令を受けて、外国におくられた役人のこと。

二六ページ

・城山

西溪公園のすぐ南にある小高い山で、鎌倉時代、多久太郎宗直がここに城を築いた。

二七ページ

・邑校東原厩舎

四代領主多久茂文(一六六九〜一七一)がた

てた学校で、約百七十年間続いた。

二八ページ

・三又塾

箕作圭吾がはじめた塾で、塾生には日本海海戦で世界的に有名な東郷平八郎などがいた。

二九ページ

・和漢の学問

日本や中国の学問のこと。

三二ページ

・文明開化

明治時代に入り、新しい考え方が広まり、生活が西洋風になっていったこと。

・鹿鳴館

明治時代に外交の表舞台として使われたことで有名な西洋式の建物のこと。

三三ページ

・関東大震災

一九二三年九月一日に関東地方をおそった大地震のことで、特に東京は大きな被害を受けた。

三四ページ

・帯磁率

金属が磁石にすいつけられる強さをあらわすめやすのこと。

三五ページ

・大庄屋

江戸時代、領主が農民の中から決めた村役人の長で、数か村をおさめた。

三六ページ

・マルコニー

イタリアの電気工学者で、一九〇九年にノーベル物理学賞を受賞した。

三六ページ

・腰岳(標高約488メートル)

伊万里市南部に位置する山で、石器の材料となる黒燐石の産地として有名である。

三五ページ

・世の荒波

日本の景気がだんだん悪くなっていくことを、海の波の様子であらわしたもの。

・天然痘

高熱と体じゅうのできものが特徴で、時には死ぬこともある恐ろしい伝染病のこと。

四十三ページ

・托鉢

仏教で、僧がお経をとこなながら、鉢を持って家ごとにお米やお金などをいただいてまわること。

・お布施

仏教の修業の一つで、説教やお経をして家々をまわり、そのお返しにお米やお金をいただいたこと。

五十三ページ

・召人

年のはじめに宮中で行なわれる歌会の選者に選ばれた人のこと。

六十二ページ

・思想家

人生や社会に対して、深く豊かな考えをもっている人のこと。

六十三ページ

・ろくじょう会

旧制鹿島中学から、現在の佐賀県立鹿島高校

までの卒業生の集まりの会のこと。

六十五ページ

・ご進講

天皇の前で、直接講義などのお話をする事。

六十七ページ

・母子連盟

いろいろな面でこまっている、父親がいない子供とその母親を助けるための団体のこと。

六十九ページ

・母子福祉法

父親がいない子供とその母親の生活の安定と向上を目的として、定められた法律のこと。

七十二ページ

・太平洋路線

太平洋上をこえて、日本とアメリカ大陸をむすぶ航空機の航路のこと。

七十四ページ

・世界恐慌

一九二九年、アメリカ合衆国から世界中に広まった不景気で、第二次世界大戦の原因となった。